

◆テーマ／『エネルギーの情報化とスマートグリッド』

【コンセプト】:「エネルギーの情報化」は生活環境における多様なエネルギー(電気、熱、風など)の流れや変化を可視化するというコンセプトのもと、本講演では、従来の個別省エネ技術では実現が難しかった超省エネ生活環境、コミュニティの実現を目指した基本的な考え方を紹介。

日 時 平成21年10月16日(金) 10:30～12:00

場 所 マリンメッセ福岡セミナー会場B [福岡市博多区沖浜町7-1]

《プログラム》

10:30-10:35 ご挨拶 [(社)九州経済連合会情報通信委員長]

10:35-11:20 基調講演 『エネルギーの情報化とスマートグリッド』

■講演者 京都大学大学院情報学研究科 教授 松山 隆司 氏

11:20-12:00 座談会 『エネルギーの情報化は何をもたらすのか』

■コメンテーター

・京都大学大学院情報学研究科 教授 松山 隆司 氏

・(社)九州経済連合会 情報通信委員会企画部会長 山崎 正幸 氏
〔九州電力株式会社 執行役員電子通信部長〕

・九州地域組込みシステム協議会 甘田 哲久 氏
〔株式会社コア九州カンパニー チーフSE〕

・パナソニックコミュニケーションズ(株) HD-PLC推進室室長 宮崎 富弥 氏

【主催】(社)九州経済連合会、総務省九州総合通信局

【後援】九州情報通信連携推進協議会(KIAI)

【協賛】九州地域組込みシステム協議会(ES-kyushu)

【関連ワード】

電力分野

・スマートメタリング

・電力と情報通信技術の連系

・電力における電力需給の現状

・スマートグリッドに関する研究動向

・日本の電力業界におけるスマートグリッド

・エネルギーカラーリング

・エネルギーオンデマンド
EoD (Energy on demand)

・エネルギーマネジメントプロトコル

・電力需給の最適化のための技術開発

『エネルギーの情報化とスマートグリッド』

・省エネルギー化のための組み込みシステム

・オンデマンド型電力NWプロトコル
および制御装置の実装

・家電機器へのモジュール組み込み
(通信機能、センサー)

・エネルギー最適化技術

組み込み分野

研究分野

・HD-PLCの標準化動向

・家庭内における情報化

・電力の見える化

通信技術

・スマートグリッドの実現方法とその課題

◇論点◇

- ①各分野の考えるエネルギーの情報化とは？
エネルギーの情報化がもたらすものとは？（各業界）
- ②各業界から見た上記実現時の課題とは？
- ③これからの情報化に期待することとは？

経済界 電力事業者

九経連 山崎企画部会長
(九電電子通信部長)

研究者

京都大 松山教授

組込み事業者

ES-Kyushu 甘田氏

環境提供事業者

PCC 宮崎室長

一般ユーザー

会場参加者



座談会の流れ

◇座談会構成

コメンテーター: ①京大・松山先生、②九経連・山崎企画部会長、③PCC・宮崎室長
④ES-Kyushu甘田氏

進 行: 桑原(九経連・セミナー事務局)

○松山先生の基調講演を受け、それぞれの立場からエネルギーの情報化についての
見解・意見を論じる(各業界の考えるエネルギーの情報化とは?): 各業界
(順序)

経済界・電力事業者(②) ⇒ 環境提供事業者(③) ⇒ 組み込み事業者(④)



○上記を実現するにあたり発生する問題、課題について論議(フリー)

先陣: 松山先生 ⇒ コメンテーター間の掛け合い



○会場参加者からの質疑応答(時間次第で)



○×(各業界の立場から「エネルギーの情報化に期待すること」を一言で)

④⇒③⇒②⇒①



○進行役によるセミナー終了のことば

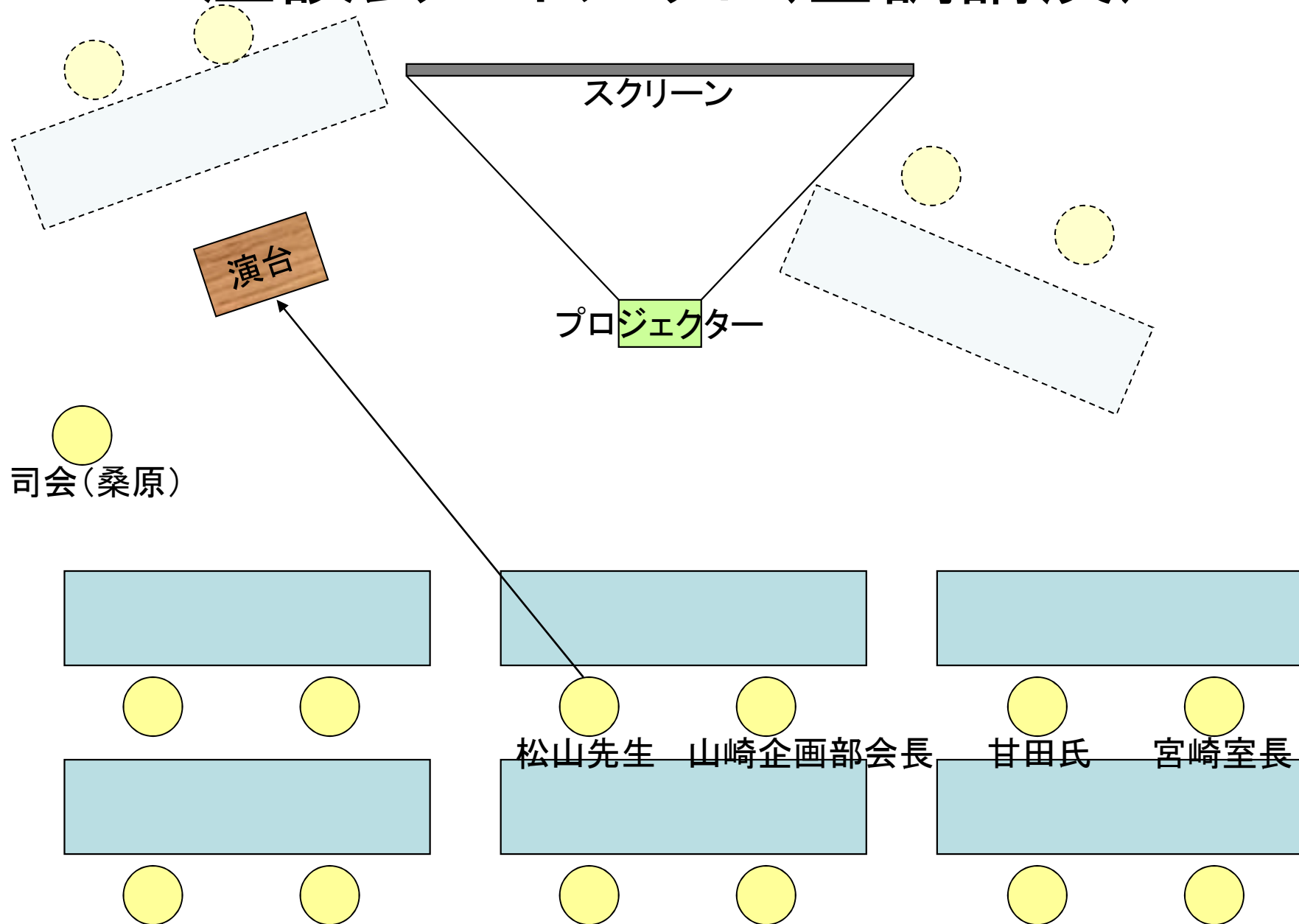
時間的に見解と課題は同時に発言・進行

時間		進行	コメント
10:30	5分	【開会挨拶】	【進 行】 本日は、モノづくりフェア2009 九経連主催セミナー「エネルギーの見える化とスマートグリッド」にお越しいただきまして、大変ありがとうございます。 本日はお手元にお配りいたしておりますパンフレットにありますように、前半を京都大学・松山教授によります基調講演、後半を松山先生に加え、九州の各業界の方々を交えて、“エネルギーの情報化は何をもたらすのか”と題し、座談会形式でそれぞれの見解などをお聞きすることとしております。 それでは、本セミナーの開会に先立ちまして、主催者を代表いたしまして、 社団法人 九州経済連合会情報通信委員会企画部会長であります、山崎が開会のご挨拶をいたします。 《挨拶 3分》
10:35	45分	【基調講演】 松山教授 テーマ： 「エネルギーの情報化とスマートグリッド」	【進 行】 ありがとうございました。 それでは、基調講演に入ります。 本日はご講演いただきますのは、京都大学大学院情報学研究科・教授であります、松山隆司さまです。 松山さま どうぞ演台までお進みください。 なお、松山さまのご経歴につきましては、お手元の資料をご参照いただきますよう、お願いいたします。 本日は、本セミナーのテーマであります「エネルギーの情報化とスマートグリッド」に関してご講演いただきます。 それでは、松山さま どうぞよろしくお願いいたします。 《講演 43分》 【進 行】 松山さま、ご講演ありがとうございました。 今一度ご講演いただきました松山さまに大きな拍手をお願いいたします。 （拍 手） なお、講演内容に関するご質問等につきましては、次の座談会の中でお受けできればと考えておりますので、ご了承ください。 引き続きまして、座談会に移ります。レイアウト変更をいたしますので、今しばらくお待ちください。 《レイアウト変更 2分》
11:20			

時間		進行	コメント
11:20	2分	【座談会】	【進 行】 それでは、用意の方ができましたので、早速座談会に入らせていただきます。 本日の座談会のテーマは“エネルギーの情報化は何をもたらすのか”です。 まず、本日のコメンテーターをご紹介します。 本日、座談会にコメンテーターとして参加していただきますのは、 先ほどご講演いただきました、 ・京都大学大学院情報学研究科・教授 松山隆司さま 九州の経済界を代表いたしまして、 ・社団法人 九州経済連合会情報通信委員会企画部会長 山崎正幸 (九州電力㈱執行役員電子通信部長) エネルギーの情報化含め、その実現環境を提供する業界の代表といたしまして、 ・パナソニックコミュニケーションズ(株) HD-PLC推進室 室長 宮崎富弥 さま 九州において非常に盛んであります組み込み業界を代表しまして、 ・九州地域組込みシステム協議会 甘田 哲久 さま 以上 4名のみなさです。どうぞよろしくお願いいたします。
	36分 (各意見 4分、回 答3分 程度)		先ほどの松山先生の基調講演の内容を受け、“エネルギーの情報化は何をもたらすのか”各業界の立場で ご意見を伺えればと思います。 まず、先陣を切っていただきますのは、九州経済連合会・情報通信委員会企画部会長の山崎正幸に お願いしたいと思います。 (意見・要望from経済界) 〇〇というご意見でした。コメンテーターの方々いかがお考えでしょうか？ ⇒ 〇〇さま、どうぞ。 (回 答): 妥当な方が返答 続きまして、パナソニックコミュニケーションズの宮崎富弥さまお願いいたします。 (意見・要望from環境提供業界) 〇〇というご意見でした。コメンテーターの方々いかがお考えでしょうか？ ⇒ 〇〇さま、どうぞ。 (回 答): 妥当な方が返答 続きまして、九州地域組込みシステム協議会・甘田哲久さまお願いいたします。 (意見・要望from組み込み業界) 〇〇というご意見でした。コメンテーターの方々いかがお考えでしょうか？ ⇒ 〇〇さま、どうぞ。 (回 答): 妥当な方が返答 (時間があれば) それでは会場の方からご質問・ご意見を伺えたらと思います。ご質問等ございましたら挙手にてお願い いたします。(意見・要望from一般ユーザー・会場 および回答)
11:58			

時間		進行	コメント
11:58	2分	【閉会のことば】	【進 行】 (コメンテーターもしくは会場からの質問が出尽くしてしまえば) ありがとうございました。 それでは、最後に、コメンテーターの方々に「エネルギーの情報化に期待すること」を一言づついただければと思います。 甘田氏 ⇒ 宮崎氏 ⇒ 山崎氏 ⇒ 松山氏 ありがとうございました。 コメンテーターのみなさまからは数々の貴重なご意見・見解をいただくことが出来ました。 エネルギーの情報化実現により、私たちの暮らしがより安心・安全、そして便利で、そしてその社会が、九州、日本、アジア、しいては地球全体に亘っての将来に亘り継続していけることを期待します。 本日は、お忙しい中、モノづくりフェア2009九経連主催セミナー 「エネルギーの情報化とスマートグリッド」 に^お越しいただきましてありがとうございます。 これをもちまして、本セミナーを終了させていただきます。 今一度、講演者およびコメンテーターの方々に大きな拍手をお願いいたします。 (拍手) お帰りの際は忘れ物のないようお願いいたします。
12:00			

座談会レイアウト(基調講演)



座談会レイアウト(座談会)

